

2022年5月24日

各位

会社名：日本エンタープライズ株式会社
 代表者の役職名：代表取締役社長 植田勝典
 (コード番号 4829 東証スタンダード)
 問合せ先責任者：常務取締役 田中勝
 TEL：03-5774-5730

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年7月14日に公表した2022年5月期(2021年6月1日～2022年5月31日)の連結業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2022年5月期通期連結業績予想の修正(2021年6月1日～2022年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,730	百万円 375	百万円 380	百万円 255	円 銭 6.35
今回修正予想(B)	4,100	100	145	35	0.89
増減額(B-A)	△630	△275	△235	△220	
増減率(%)	△13.3%	△73.3%	△61.8%	△86.3%	
(ご参考)前期実績 (2021年5月期)	4,346	338	355	134	3.35

<修正の理由>

売上高につきましては、「ビジネスサポートサービス」のキッティング支援において、サプライチェーンの停滞による影響を受けた新規端末の供給回復に伴う業績拡大を見込んでおりましたが、予想に反して端末の品薄状態が継続したことによる減少の他、「コンテンツサービス」において、新規アプリ開発の遅延や通信キャリア以外が運営するプラットフォームで提供するコンテンツの減少等により、クリエイション事業は500百万円減を見込んでおります。

また、「システム開発・運用サービス」において、働き方改革及び在宅勤務(テレワーク)の浸透並びに業務プロセスの効率化等のDXの推進に伴うITサービスの需要拡大を背景に、受託開発や業務支援サービスは増勢に推移しているものの、各種商材の販促に時間を要したこと等により、ソリューション事業は130百万円減を見込んでおります。

以上から、売上高につきましては、630百万円減の4,100百万円を見込んでおります。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、広告宣伝費を中心とした販管費のコスト削減に努めたものの、売上高が当初予想を下回った他、ソリューション事業の原価率の上昇等により、当初予想を下回る見込みであります。

(今後について)

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供する「クリエイション事業」における、一般消費者向け「コンテンツサービス」については、引き続き通信キャリアが運営するプラットフォームで提供する定額制コンテンツの拡充を図る中、新規アプリ開発・新規領域へのサービス展開に注力することで、増収を図ってまいります。

また、法人向け「ビジネスサポートサービス」については、特にキitting支援において、スマートフォンやタブレット等新規端末の品薄状態の影響が続くものの、社会のDX化に伴う企業における端末の買い替え需要が旺盛であるため、新規端末の供給回復に合わせて増加が見込まれるお客様からのご注文に遅滞なくお応えできるようサービス提供態勢を整えてまいります。

一方、法人向けシステムの受託開発・運用を主な業務とする「ソリューション事業」における、スクラッチ開発を中心としたアプリ開発、WEB構築、サーバ構築、システム運用・監視、デバッグ、ユーザーサポート等「システム開発・運用サービス」については、企業のIT投資意欲は総じて高いため、複合的な技術と顧客業務へのコンサルティングが求められるDX関連開発に対し、自社コンテンツ開発で培ったノウハウを活かしたトータルソリューションサービスを提供してまいります。

また、人手不足問題にマッチした「業務支援サービス」については、大手通信キャリアを中心に積極的な営業強化及び高度人材の継続的な獲得・育成に注力し、引き続き既存顧客への深耕と新規顧客の獲得を推し進めてまいります。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	3.00	3.00
今回修正予想	—	—	—	2.00	2.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2021年5月期)	—	—	—	3.00	3.00

(注)2021年5月期期末配当金の内訳 普通配当 2円50銭 記念配当 0円50銭

<修正の理由>

当社は、企業価値の向上へ向け、安定配当を基本とし、単年度の業績だけでなく中長期的な観点から総合的に勘案して、株主の皆様への利益還元を実施しております。

前述の通り、通期業績予想は大幅な減益修正とさせていただきますが、株主の皆様に対する安定した配当の継続、内部留保の状況を考慮した結果、期末配当予想については、1.00円減配の1株当たり2.00円とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、業績の早期回復に向け、更なる経営努力を重ねてまいりますので、何卒ご理解、ご了承の程よろしくお願い申し上げます。

※上記の予想は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となることがあります。

以上